



参加された皆さま



「宇宙と地上はここが違う！熱設計から読み解く宇宙“ものづくり”の最前線」について講演する当社従業員

令和7年度「理科研修講座(先端科学コース)」を実施

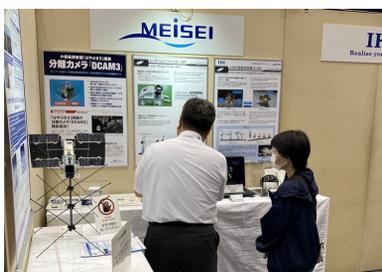
7月25日、群馬県総合教育センターからの依頼を受け、令和7年度研修講座「理科研修講座(先端科学コース)」を実施しました。本講座は、教諭の皆さまに当社の先端技術について理解を深めていただき、今後の教育現場での指導力向上や児童生徒への還元を目的として開催したものです。

当日は、群馬県立の小・中・高校の教諭19名が来社され、技術者による「気象」「防災」「宇宙」3分野に関する講義のほか、工場見学や当社製品(POTEKA・計測震度計)の組み立て体験にも取り組んでいただきました。

参加された皆さまからは、「地震が起きた時の震度の計測や、緊急地震速報がどのような装置で行われているかを知ることができ、授業で生徒たちに伝えられると感じた」「身近な雨雲レーダーや地震速報、宇宙探査まで幅広い活躍をされている企業が群馬県伊勢崎市にあることを知り、仕組みとともに授業で紹介したい」「はやぶさが帰還した際、模型が県内各所で展示されたが、当時は生徒に詳しく教えられなかった。今回知ることができてうれしい」などの感想をいただきました。

今後も、教育機関との連携や当社製品・技術を活用した社会貢献活動に、積極的に取り組んでいきます。

(担当:気象防災事業部、宇宙防衛事業部、生産本部、管理本部)



来場者に説明する当社従業員

宇宙技術および科学の国際シンポジウムに出展

7月12日から16日にかけて、徳島県で開催された第35回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)に出展しました。ISTSは2年に一度開催され、世界各国から宇宙分野の研究者や技術者が集い、最新の研究成果の発表や専門的な討論を行う国際的な学会会議です。

当社ブースでは、「はやぶさ2」搭載の分離カメラ(DCAM3)、「SLIM」搭載のレーザーレンジファインダー(LRF)、JEM自律移動型船内カメラ(Int-Ball)など、これまでの宇宙開発プロジェクトで活躍した機器を展示しました。特に、実際のミッションで使用された技術の紹介には多くの方が足を止め、質問やご意見をいただく場面も見られました。ご来場いただいた方々と直接意見交換できたことは、当社にとっても有意義な機会となりました。

今後も、宇宙技術のさらなる発展に向けて技術開発に取り組んでいきます。

(担当:宇宙防衛事業部、営業本部)



展示した「POTEKA」

2025自治体ソリューションフェアin北陸に出展

7月3日、石川県地場産業振興センターで開催された「2025自治体ソリューションフェアin北陸」(主催/株式会社自治日報社、協賛/株式会社石川コンピュータ・センター)にて、「POTEKA」を出展しました。

このフェアでは、国がデジタル田園都市国家構想交付金の後継として新たに交付する「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用した魅力的な地方創生についても検討が求められています。今後の行政のあるべき姿を具現化するさまざまなソリューションを紹介することをテーマとして開催されており、「POTEKA」もその一翼を担うべく出展しました。

明星電気は、独自のSensing&Communication技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

(担当:営業本部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。